

整備部会で取り扱うテーマの洗い出し（ブレーンストーミング）

<充電設備の設置者サイドから考えられる課題>

①急速・普通充電設備の設置及び、電源配線工事の費用低減

- ・ コストダウン方策
- ・ 補助金等による支援
- ・ 規制緩和（火災予防条例、1 需要場所 1 契約種別）

②大規模駐車場への普通充電インフラの整備

- ・ 普通充電設備の設置に関するガイドラインの整備（マンション理事会へのアプローチ・プロセス事例）
- ・ 利用者の認証・監視・課金システム（使用量の計測、集金方法）
- ・ コストダウン方策（工法、需要率、不等率）
- ・ 補助金等による支援（共用配線部への補助）
- ・ 規制緩和（1 需要場所 1 契約種別）

③急速・普通充電設備の設置・工事ガイドラインの整備

- ・ EV等の普通充電設備の設置例の整備 ⇒ 電力中央研究所 → 事務局 → 配布
- ・ ランニングコストの検討手法の整備

④急速充電設備の保守点検ガイドライン

⑤急速充電器の保守・監視システム

- ・ 設備の盗難防止
- ・ 悪戯対策

⑥普通速充電器の保守

- ・ 設備の盗難防止
- ・ 悪戯対策

⑦急速充電設備の貸出ビジネスモデルの検討

- ・ 急速充電器に端末を取り付ける際のインターフェイス規格の統一

⑧課金以外の費用回収方法の検討（広告、メンテナンス）

⑨急速充電器の「CEマーク」取得の検討

⑩CAN通信有無（規格）による急速充電器とEV間の信号受け渡し方法について

⑪急速充電器のPSE等の関係法令への統一的な対応の検討

※ ⑨～⑪に関しては、主な検討は技術部会で実施し、その結果の共有は整備部会でも実施する。

<充電設備の利用者サイドから考えられる課題>

①急速・普通充電設備の位置情報の共有化

- ・ 利用条件情報（時間帯、料金、申込）
- ・ 急速充電設備の空き情報

②EVと整合した急速充電設備の明確化（表示の統一）

- ・ 安全性の確認方法

③急速充電器の利用者ガイドの整備（操作方法）

- ・ トラブル発生時の対処方法

④急速充電ケーブルの改良（重量、巻き取り）

- ・ 車両サイトで保管
- ・ 巻き取り方法の検討

⑤EVの給電口の統一・標準化

⑥コネクタの改良（軽量化、利便性の向上）

⑦地域や場所に応じた「最適な容量の急速充電器の開発・設置」の検討（データの共有化）

- ・ ・ ・ 30kW（小容量化） ← 50kW → 80kW（大容量化） ・ ・ ・

※ 急速充電器の適正容量等の検討は技術部会で実施するようになるが、その要望事項については整備部会で洗い出す。

<共有してほしい情報>

○各地域における電気自動車普及に向けた取組みの紹介

- ・ 大阪府での「電気自動車向け充電インフラ」実証試験での取り組みについて
- ・ 関西電気自動車普及推進協議会（仮称）の設立状況等について
- ・ 青森県でのEV・PHV導入モデル事業へのシステムサービス提供について

○実証研究の実施結果

- ・ 次世代SSに関する実証試験結果について
- ・ 電気自動車用急速充電器のICカードリーダー／ライターの設置について

○自動車会社によるインフラ整備の方向性

○その他

- ・ 通信機能付充電スタンドについて
- ・ 電気自動車との電力通信（PLC）について
- ・ 電気自動車用バッテリーの二次利用事業等について
- ・ 海外における急速充電インフラ活動や取り組み・ビジネスモデルの状況について
- ・ COCN「EV・PHVの充電インフラに関する研究会」の最終報告および、最終報告後の研究会議事録 ⇒ 事務局 → 配布